

さつま議会だより

平成30年8月2日発行 No.54

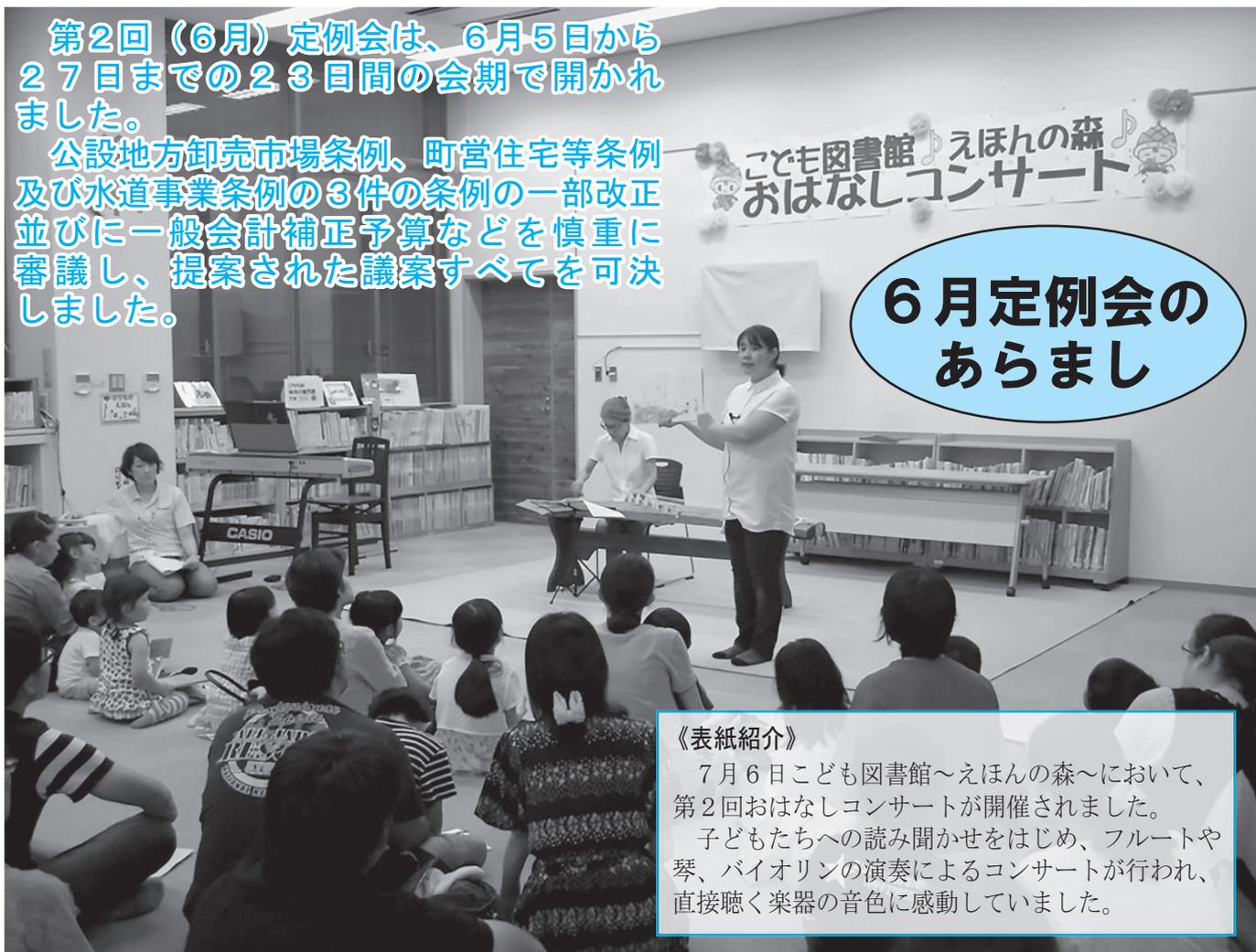


補正予算の概要	2P
条例の一部改正、その他議案等	4P
常任委員会審査	5P
一般質問(5人)、請願・陳情審査	7P
議会との意見交換会、傍聴	10P
議長の動静	13P
議会活動、編集後記	14P

《子ども図書館～えほんの森～にて、第2回おはなしコンサートが開催されました! (7月6日撮影)》

第2回（6月）定例会は、6月5日から27日までの23日間の会期で開かれました。

公設地方卸売市場条例、町営住宅等条例及び水道事業条例の3件の条例の一部改正並びに一般会計補正予算などを慎重に審議し、提案された議案すべてを可決しました。



6月定例会のあらまし

《表紙紹介》

7月6日こども図書館～えほんの森～において、第2回おはなしコンサートが開催されました。子どもたちへの読み聞かせをはじめ、フルートや琴、バイオリンの演奏によるコンサートが行われ、直接聴く楽器の音色に感動していました。

◆平成30年度6月補正◆

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	3億5,808万円	135億5,808万円

※金額は千円単位を四捨五入

補正予算の概要

～今後の事業展開を探る～

危険家屋解体撤去補助として、国庫補助事業である空き家対策総合支援事業の内示を受けたことにより、事業補助として計上されています。国の補助事業では、住宅の不良判定基準に基づき、補助対象家屋が判定されるため、補助対象外分も見込んでいます。



既に解体撤去された危険家屋

景観形成推進事業 (企画財政課)

450万円

宝くじの社会貢献広報事業の中のコミュニティ助成事業に対し、宮之城屋地区公民館から申請された伝統芸能伝承事業（五ツ太鼓購入）が採択されたことにより、五ツ太鼓10台分の購入助成金として計上されています。



採択された五ツ太鼓(ネット画像より)

コミュニティ助成事業 (企画財政課)

230万円

畜産クラスター事業 (農政課) 6896万円

畜産農家の収益力強化のため、町畜産クラスター協議会で取り組む牛舎等の整備に対し補助するものです。

今回は、取組主体4戸の5箇所を計画しており、子牛牛舎3棟新築、育成牛舎1棟新築、繁殖牛舎2棟新築及び繁殖牛舎3棟の改築となっております。

■質疑■
畜産クラスター事業の取組主体は、4戸の5箇所を計画しているが、申請者のうち、採択されなかった畜産農家はなかったものか。
(柏木幸平議員)

□回答□
申請がなされた畜産農家全てが事業の採択を受けている。

全国和牛能力共進会出品対策事業 (農政課) 10万円

4年後の平成34年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会(鹿児島大会)へ向けた出品対策として取り組むものです。

肥育技術実証支援補助として、4頭分の追加割当によるもので、1頭当たり2万5千円の支援が計画されています。

第11回全国和牛能力共進会県予選会の状況



第11回全国和牛能力共進会県予選会の状況

中心経営体等施設整備事業 (担い手育成支援室) 172万円

農業用機械の導入により、作業の効率化と経営面積の規模拡大等を図ることを目的に、佐志地区の1経営体を取り組むもので、水田作に使用する自走式の乗用型防除機「ブームスプレーヤ650リッター型」1台を導入するものです。



自走式の乗用型防除機(ネット画像より)

宗功寺公園ふれあい整備事業 (商工観光PR課) 466万円

県の地域振興推進事業を活用して、県立北薩広域公園歴史ゾーンの整備計画と一体となった取り組みを進めるもので、宗功寺公園に東屋を設置し、交流人口の増大や地域活性化を図ることを目的としています。



前回整備された轟ノ上水辺公園の東屋

旧白男川小学校改修事業 (商工観光PR課) 1億6705万円

平成28年5月から地元との協議を重ね、白男川地区から平成29年3月に提出された基本構想等に基づき、国の事業を活用した拠点的施設及びコンベンション事業推進による合宿誘致のための宿泊施設等に改修し、交流人口の増大を図ることを目的としています。



文教経済常任委員による現地調査の状況

中学校再編準備事業 (教育総務課) 2500万円

主に宮之城中学校グラウンドの排水対策を含む整備工事費で、排水対策の施工により水はけの改善を行うとともに、テニスコートの配置替えが計画されています。

■質疑■
グラウンド整備に係る施工業者の選定は、

(岩元涼一議員)

□回答□
施工業者の選定にあつては、指名推薦委員会により選考されることになる。

◆要請◆
排水対策については、設計段階での対応及び施工監理のあり方について、十分検討するよう要請する。

(岩元涼一議員)

条例等

～我が町の法規を探る～

公設地方卸売市場条例の一部改正

改正の主な内容は、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律において、生鮮食品等に関する規定が、食品表示法に整理・統合されたことに伴うもので、卸売業者が市場外にある物品の卸売承認申請書を町長に提出する必要がなくなったため、関係条項を整理するものです。

町営住宅等条例の一部改正

改正の主な内容は、地方分権一括法の施行に伴うもので、公営住宅入居者である認知症患者等の収入申告義務が緩和されたことに伴う改正と新たに建設された「おしどり団地」10戸の設置に伴うものです。

■質疑■

認知症患者等の入居者からの収入申告等が困難と認められる場合の官公署の書類の閲覧等は、職権で行うことになるのか。

(上久保澄雄議員)

□回答□

介護保険法に基づく認知症患者又は知的障がい者として認定されること若しくは精神保健福祉法に基づいて認定されることが条件になっており、町営住宅入居者の中でこの条件に該当する場合は、職権で調査することになる。



新築工事が進む「おしどり団地」の住宅

■質疑■

今回の改正に該当するような事例が今までにあったものか。

(岩元涼一議員)

□回答□

現在までに該当事例はないが、今年2月現在で、80歳以上が42世帯、70歳代が52世帯、60歳代が81世帯の状況であり、入居者の高齢化が進んでいることから、今後、該当者が出てくる可能性は十分考えられる。

水道事業条例の一部改正

改正の主な内容は、橋掛公民会、境田公民会及び搦公民会の3公民会が合併して未栄の郷公民会となったことに伴い、別表中の「搦の一部」を「未栄の郷の一部」に改めるものです。

■質疑■

橋掛公民会、境田公民会には、給水対象となる戸数はないのか。

(米丸文武議員)

□回答□

搦公民会の一部については9戸の家屋に給水しているが、橋掛公民会、境田公民会については基本的には自家用水である。なお、橋掛公民会については、これまで森林組合が所有していた施設の井戸水を譲り受けて飲用されているところである。

【専決処分】

・税条例の一部改正
・国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、各条例の一部改正に緊急を要したため、平成30年3月31日付けで専決処分され、同年4月1日付けで施行されています。

【主な改正事項】

(町税)

・法人町民税について
租税特別措置法に係る該当条項の適用を受け、
・中小企業の一定の設備投資に対し、固定資産税をゼロに軽減することを「平成30年度から平成32年度までの3年間」可能とする時限的な特例措置の創設
(国保税)

・国民健康保険税の課税限度額の引き上げ
・低所得者に係る軽減措置の拡充

《その他の議案》

平成29年度繰越明許費繰越計算書の報告について

一般会計において、担い手育成事務費ほか14事業に係る予算を、地方自治法第213条の規定により繰り越したことを報告するものです。

なお、この報告により、翌年度に繰り越す繰越額の総額は、6億5034万円になります。

平成29年度
土地開発公社収入
支出決算について

平成30年度土地開発公社事業変更契約及び事業会計補正予算(第1号)

※3件の報告は、
いずれも報告済

常任委員会審査

委員会審査の中で出された
質疑、意見などの主な
事項を掲載してあります。

総務厚生常任委員会

一般会計補正予算(第1号)

■質疑

コミュニケーション助成事業補助の伝統芸能伝承事業について、五ツ太鼓購入後、計画に基づいて使用されなかった場合の対応をどのように考えているか。

(岸良光廣議員)

□回答

購入後についても宮之城屋地区公民館から提出された計画に基づき、地域住民に広く活用されるよう確認や指導を行っていく方向である。

■質疑

危険家屋解体撤去補助について、危険家屋の特定空家として判定され、行政代執行を行う必要があるような物件はないのか。

(宮之脇尚美議員)

□回答

現時点で行政代執行を行うような物件はない。また、空家についての情報提供があった場合は、まずは現地確認を行い、所有者や管理者に適切な管理をお願いしているが、所有者又は管理者が適正な管理を怠った場合は、建築関係、行政書士等の有識者で組織されている空家対策協議会での意見等を踏まえ、状況に応じて指導・勧告・命令・公表等の行政処分の手続きを執ることになる。

■質疑

空家対策に係る景観形成推進事業の事務分掌のあり方を検討する必要はないか。

(宮之脇尚美議員)

□回答

空家対策については建築技師等専門的な視点も必要なことから、人員の確保ができれば建設課において対応することになる。

また、毎年各課等のヒアリングも実施しているため、年次的に見直しをしていきたい。

◆要請

行政事務全般にわたり、事務を円滑に推進するため、事務分掌の適正化を図るよう強く要請する。

(宮之脇尚美議員)

□説明

介護保険対策費には第7期介護保険事業計画に位置付けた介護保険サービスマス施設整備に係る認知症高齢者グループホーム及び宿泊やデイサービス、訪問介護などが多機能にできる小規模多機能型居宅介護事業所への施設整備補助金8077万円が計上されています。

事業予定者は、JA北さつま農業協同組合で、建設予定地は、旧JA北さつま佐志支所跡地で進められる計画です。

■質疑

当初予算に計上できなかった理由は何か。

(新改秀作議員)

□回答

前年度に県への要望を行っていたが、その時点では、補助金額が決定していなかったため、計上できなかったところである。

■質疑

町内グループホームの事業所数及び現在の待機者数は何名か。

(岸良光廣議員)

□回答

認知症高齢者グループホームは、現在7事業所で定員は108名であり、今回の施設整備を含めると、8事業所で定員が126名となる。

本年2月時点での待機者数73名のうち自宅待機者数は44名、残り29名については、病院や施設等に入院又は入所されている。



五ツ太鼓の練習の成果を披露
(ネット画像より)



グループホームの建設が予定されている「旧JA北さつま佐志支所跡」

文教経済常任委員会

一般会計補正予算（第1号）

■質疑

中心経営体等施設整備事業補助の佐志地区1経営体の現在の経営面積と今後の経営目標面積は。

□回答□
（新改幸一議員）

現在の経営面積は、6.93ヘクタールで、3年後の目標面積として8.93ヘクタールに拡大する計画である。

■質疑

中心経営体等施設整備事業において、今回導入する乗用型防除機のナンバー登録の必要性は。

□回答□
（川口憲男議員）

自走式で乗用装備があり、時速35km未満の農業機械については、課税対象となることから、ナンバー登録が必要である。

■質疑

宗功寺公園ふれあい整備事業による東屋設置工事の施工内容は。

□回答□
（田野光彦議員）

仮設工事、基礎工事、東屋本体工事に加え、テーブル及びベンチを設置する内容となっている。

■質疑

宮之城中学校の平成31年4月の再編、開校に向けて、今後必要となる経費は。

□回答□
（上久保澄雄議員）

予算を伴う事業としては、校歌、校訓等の標記物に係る経費や閉校となる中学校からの備品の移転、搬入経費及び閉校記念式典に要する音響等の借り上げ料を考えている。

■質疑

枕投げ大会経費23万4千円に対して、枕投げ大会実行委員会に県補助金100万円が計上されているが、残りの財源は。

□回答□
（岩元涼一議員）

実行委員会の運営となつているが、町からの地域再生事業2年目の30万円補助を活用されており、残りは参加料と協賛金を充てられる計画である。

昨年もメディアの放映がなされたが、今回は2日間の大会でもあり、更に宣伝効果を期待したい。

◆意見

メディアが来ることで宣伝効果は高いと思うが、その後の経済効果に繋がるよう温泉を利用した宿泊客の増加を期待する。

（岩元涼一議員）

■質疑

旧白男川小学校改修事業については、指定管理の体制づくりについても同時に進めていく必要性があると考えますが、保健所対応、簡易宿泊所の許認可の申請事務等は。

□回答□
（川口憲男議員）

企画財政課、財産管理課、建設課及び商工観光PR課で相互に連携を取りながら進めており、許認可の申請については、財産管理課の方で情報収集を行っている。今後、更に連絡体制を密にししながら行程表を作成して進めていきたい。

■町長総括質疑

旧白男川小学校改修事業については、改修工事に着工する前に、具体的な経営管理主体をはじめとする経営方針や年間を通じた運営経費の試算を行い、所要経費の取り扱い等について明らかにすることが優先事項であると考えますが、町長の見解を伺う。

□町長答弁□
（米丸文武議員）

今回のケースについては、初めての取り組みであり、施設の管理条例も提案しない段階で指定管理料等を提示した場合、実際に条例を提案する時点で既に示した数字とに差異が生じる可能性があることから、具体的に示す段階ではないと考えたところである。

白男川地区は様々な活動に熱心な地域でもあり、今回初めてとなるプロジェクトが継続して進められるよう行政サイドとしても連携

を十分取りながら政策的にはスポーツ合宿の宿泊施設として、一方では地域活性化の拠点として、しっかりと取り組みを進め、成功に導いていきたい。

◆要請

本事業に対する地元の熱意は大いに評価するものであり、ぜひとも成功させる必要があると考えますが、本会議での議案審議も含めて、改修後の施設の管理経費については、改修工事に着手する前に概算額の精査を行い、ある程度の目安をつけた段階で改修工事の発注を進めるよう要請する。

（上久保澄雄議員）



現地調査を行う委員（旧白男川小）



現地調査を行う委員（旧白男川小）

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載してあります。



新改 幸一議員

農業政策

種子法廃止の影響は

町長／優良種子供給に取り組む

新改

主要作物種子法が廃止され、中津川採種生産組合や管内水稲農家は、将来に対する大きな不安と影響が出ると考える。

また、和牛生産に必要な基本粗飼料は国内の稲わらであり、種子法廃止は畜産農家にも影響を与える可能性があることから、その対策と指導の考えは。

町長

種子法は、優良な種子の安定的な生産と普及を果たす役割と定められた法律であり、都道府県が責任を持つことを定めている。主要作物種子法は平成29年度をもって廃止され、町として中津川採種生産組合と連携して種子法廃止後の対策について県へ働きかけている。新たな種子生産、普及要綱や種子関連予算も措置され、水稲農家への影響はないと思われる。また、粗飼料の確保が経営を左右することから、飼料作付面積の拡大や関係機関と連携して国内産稲わらの確保に取り組んで行きたい。



県内の普通期米の種子を生産する中津川採種生産組合の看板

鶴田ダム周辺の活性化策は

町長／利活用の検討を図る

観光政策

※プロジェクトマップとは、コンピュータで作成した画像を映写機等を用いて建物や空間に映像として映し、時には音と同期させる技術の総称



川口 憲男議員



ダム再開発のため生コンの精製が行われたバッチャープラント跡地の現状

川口

ダム再開発が終了するが、周辺の利活用に對する具体的な取り組みは。

町長

事業の終了後に返還されるバッチャープラント跡及びヘラブナ岬等の活用については、様々な車のイベントや野外音楽フェスティバル及び堤体を活用したプロジェクトによる利活用を考えている。そのためには、県道鶴田大口線の改良整備が不可欠であり、国・県に対し引き続き要望活動を展開していく。

森林バンク制度の活用は

町長／林業生産活動の確保を図る

川口

管理者のいない民有林に対し、市町村が管理する森林バンク制度を活用した取り組みへの考えは。

町長

森林の持つ公益的機能の維持継続を図り、森林所有者及び林業従事者の所得向上に繋がる高い生産性や収益性を有するなど、効率的かつ安定的な林業経営の実現、さらに主伐後の再造林など林業生産活動の継続性の確保を目指していきたい。

入来峠のトンネル整備等は

町長／早く取り組めるよう努力する



三浦 広幸議員



国道328号入来峠の清浦ダム付近
(落石防止施設の状況)

三浦

原子力災害の避難経路の国道328号は、複合災害（地震・積雪など）が同時に発生した場合、速やかに避難できるような沿線自治体と連携しながら、先頭に立ってトンネル整備構想と防災対策事業を進めるべきと考えるが、今後の取り組みは。

町長

現在、下船木から旧屋地交番までの4車線化と国道3号付近のバイパスを重点要望としている。本路線は国道3号バイパス機能を有

し、緊急事態発生時や救急時には、緊急輸送路として位置づけ「いのちの道」としての機能を果たすなど、きわめて重要な役割を持っている。

総合防災対策事業については、さらに強力な要望を重ね、トンネル整備構想についても重要な課題と捉えており、国道328号整備促進期成会の幹事会においても協議を行いながら、早い段階で重点要望項目とできるよう努力したい。

施設管理

指定管理施設の経営状況は

町長／各施設の活性化を図る



米丸 文武議員



指定管理施設のうち、運営が休止状態の「さつま特産品直売所」

米丸

観音滝公園滝の宿、健康ふれあいセンターあびる館及び特産品直売所など、指定管理施設の経営状況はどのようになっているのか。また、さつま特産品直売所が休止状態となっているが、今後の再開の見通しは。

町長

指定管理者において、集客力を高めるための新たな自主事業サービスに努めるなど、経営改善に取り組んでいるが、平成29年度においては、あびる館では若干の改善が見られたものの、観音滝公園については厳しい状況となっている。各特産品直売所では、各種イベント等を実施したことで、平成29年度は売上や購買者数が前年比を超過、概ね順調な経営状況である。さつま特産品直売所については、早期再開に向け、地元や売上の大きい団体等に営業再開の交渉中であるが、しばらく検討の期間が必要である。



岩元 涼一議員

河川整備

河川の寄り洲除去が必要

町長／緊急性の高い順から実施

岩元
各地域から寄り洲を取り除いてほしいとの要望が出されているが進んでいない。県の管轄ではあるがその取り組み状況は。



河川の寄り洲が除去され整備が進められた南方川(中津川区)

町長

町内の県河川は20河川で、延長は124kmである。出された要望は県に申請しているが、緊急性の高いものから除去している。災害に繋がらないよう要望を続けていくが、河川の清掃美化活動等については、ボランティア活動を支援する制度があるので、各公民会等で検討をお願いしたい。

学校跡の利用は行政側で

町長／地域の意見・要望を優先

岩元
地元の意向や利用案を尊重するとしている

が、規模が大きく地元で考えるのは難しい。行政が計画を示すべきではないか。

町長

住民の意見を十分反映させ特性を活かした活用策を基本としていることから、参考となる施設を視察するため経費を予算化し研修も実施している。

地元の検討委員会と連携を密にしながら十分な議論を行い、有効な活用策となるよう進めていく。

その他通告事項

移住者の定住対策について

どうなった!!あなたの請願・陳情

2件の陳情を審査しました

採択

防衛局所管施設の誘致について

◎請願者

・さつま町宮之城屋地1531
さつま町商工会 会長 白石和弘

紹介議員

舟倉 武則 議員

請願の趣旨

少子高齢化や人口減少、町全体の経済活動が低迷していることから、防衛局所管施設を誘致することで、隊員や家族の移住による人口増や雇用の創出による経済効果、インフラ整備、災害発生時の救助活動、緊急医療整備などにより、地域活性化に繋がることを望むものです。

付帯意見

採択に当たり「各種団体の代表を含めた検討委員会を設置し、町の活性化につながる誘致活動を展開していくべきである。」として、町長に申し入れを行うことに決定しました。

取下げ

防衛施設の誘致に関する陳情

◎陳情者

・さつま町求名12738-5
山崎 隆

平成30年6月14日に本人からの陳情取下申出書を受理し、同月27日の本会議で取下げを許可しました。

一部採択

シラスウナギ採捕の袋網漁法全廃の陳情書

◎陳情者

・さつま町西新町2番地15
川内川漁業協同組合代表理事組合長 富澤満郎

◇意見書

要請事項1項目目の「袋網採捕を平成30年3月31日までとした川内川漁業協同組合と川内市水面漁業協同組合の採捕協定書の厳守」については、採捕協定書の有効期限が既に失効していることから、要請事項の1項目目を除く部分についてを了とし、また、2項目目の「袋網漁法を全廃して、手すくい網採捕のみを許可すること」についても対象河川を川内川に限定して、「一部採択」とし、県知事に対して意見書を送付しました。

◆平成30年度 議会との意見交換会を開催◆

町内20会場に580人参加いただきました。



【神子区】

このほかにも、当日会場でお答えできなかった質問等の回答につきましては、各区公民館長に報告書を渡してありますので、是非ご覧ください。

通算で5回目となる議会報告会を「議会との意見交換会」に名称変更し、町内20公民館を対象に議員4人1組の4班体制で実施しました。町民の皆さまには多忙な時期にも関わらず、多数の参加をいただき、どの会場でも多くの意見、要望等が出されました。その概要を報告いたします。

議会に対する意見・要望等

◆報告内容に関する事項◆

《質疑・意見》

- 今回、無投票だった立候補者が分かるのはいつか。
- 立候補の条件はどうなっているか。
- 小学校の英語検定は、助成額は1回のみか。
- 過疎債の事業内容を説明してほしい。
- 学校統廃合後の対策について、議会内での議論はなされたのか。
- 平成18年に議会で泊野地区の簡易水道敷設を求める陳情書を趣旨採択して頂いた。学校跡地活用策でも、水は大事な問題であることから、水道設置を要望したい。
- ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）のこれまでの寄附額と活用



【求名区】

内容はどうなっているのか。また、行政・議会も情報発信に力を注ぐべきではないか。

- 今回の条例改正により、さつま町指定地域密着型サービス事業の制度はどのように変わるのか。
- 先進地視察された佐賀県みやき町と比較して、本町の子育て支援対策はどうであったか。

◆議員定数・報酬等に関する事項◆

- 他の自治体の状況を聞くと、16人で良いのではと考える。
- 定数16人とし、選挙で12人を、区公民館長連絡協議会から4人を選出する選挙制度の見直しはできないか。
- 区数と同数の20人いてもいいと考える。報酬も上げていいのではないか。
- 定数を16人から12人若しくは14人くらいにしたほうが望ましい。
- 定数は11人くらいでいいのではないか。自営業や退職後の議員しかいないが、若い人が立候補しやすいようにしてはどうか。そのためには、今の報酬では議員専門は無理であるので、報酬を上げてはどうか。
- 議員よりも公民館長の仕事のほうが多い。議員の数を少なくして館長手当に充ててべきではないか。
- 議会も身を切る改革をしてほしい。議会自ら定数減をしてほしい。
- 報酬が安いので、若い人が議員になかなかならない。もっと報酬を上げるべきである。
- 無投票は議会活性化につながる。退職金も、年金もないので、せめて50代の人に立候補してもらったら報酬を上げてはどうか。
- 月額報酬30万円、ボーナスも支給する条件で仕事の量と定数の関係をチェックして検討してほしい。厚生年金には、加入できるようにすべきだ。
- 議員報酬は生活給ではないから上げることには、賛成できない。
- 議会への出会日数が月に5、6日であれば、日額報酬でもよくないか。また、住民の代表として強い立場で望むべきではないか。

◆その他議会に 関する事項◆

- 執行部の監視だけでなく議員提案が多ければ活性化できるのではないか。提案のできる議員像を望む。
- 一般質問も少ない。町長と政策論争を行うくらいしてほしい。
- 議会だよりの一般質問を見ても、質問者が少ないと感じる。議員の活動が目に見えない。
- 議会で執行部の案が否決されることはないのではないか。議会の必要性はどこにあるのか。
- 若い人のなり手がないことについては、これまでとも言われていることである。議会として、夜間・日曜議会など対策を講じるべきではないか。
- 公民会長の議員兼務を可能にすれば、議員として町の監視を、公民会長としては地域の

リーダーとして働ける。○女性が議員に出られる環境づくりを望む。

- この意見交換会への参加者も60歳以上が多い。若い人の参加を促す手立てはないか。
- 議員が地域住民と話す機会が少なくなってきたのではないか。色々な会合に出て話をしてほしい。
- 議会質問などの録画を後で見られるようにできないか。
- 議会だよりは、中身が要約されすぎて、質問者と執行部との詳細がわからない。もっと詳しく掲載してほしい。
- 無投票により選挙公報が出なかつたので、どんな人が議員になったかわからない。無投票でも町政の課題にどう対応するかを知らせてほしかった。
- 議会だよりが稚拙である。一般質問をされていない議員もいる。

町に対する意見・要望等

◆地域振興◆

- 交流館等の指定管理の検証を行っているか。
- 交流館等、町が管理すべき施設が町民への押し付けになっていないか。

◆農林業振興◆

- 農業後継者がいないので、モデル農場を作るなどして、IターンやUターン者呼び込むようにしてほしい。どうかそうしないと集落の維持継続も難しい。
- 外国人労働者（アジア方面）を雇用できないか。
- 中山間直接支払制度について、現在の中山間農地対策はどのような状況か。
- 農地中間管理機構についての説明があつたが、理解できない所も



【宮之城屋地区】

あり説明を願いたい。○牛の白血病対策をJ A・行政・共済組合で連携してやってほしい。○WCSは生産牛1頭に対して3反しか作れないので、6反・7反と耕作できるようにしてほしい。

○米を作っているが、霧島の火山活動による川内川流域の作物の風評被害が出ないようにしてほしい。

◆学校再編◆

○薩摩地区の学校再編状況は、足並みをそろえないと鶴田・湯田に支障が生じる。

◆学校跡地活用◆

○小学校の跡地の利用はどうかしているのか。管理はどこが行うのか。管理費はどうなっているか。閉校が決まったら、地域とは全く関係がなくなっている。町民の意見が届くよう、議会が働きかけることが重要である。



【湯田区】

○山崎中学校の閉校にあたり学校適正化委員会が立ち上げられ、この結論になったのだから、跡地利用は、閉校後ではなく再編と同時併行して協議を進めべきではなかったか。

○旧紫尾小学校では野菜工場の誘致があつたが、どこが、どんな形で進めたのか。地域の意見を聞いてというのが町の施設活用をどこが主体的に進めるのか。

○閉校後の学校活用として、専門学校や短期大学としての活用はできないか。

◆災害対策◆

○原子力災害が発生した場合の避難路、交通手段等を懸念しており、再検討を要望する。

○川内原発の事故が起きたら保護者が迎えに行くことになっているが、宮之城中学校の進入道路は狭い。対策はどうなっているのか。

○旧JA永野支所の畳の補修と災害時避難所施設への指定を要望する。

◆防災行政無線設備・公民会放送設備対策◆

○町防災行政無線の戸別受信機は、全戸に設置するのに各家庭へのアンケートが必要だったのか。

○他の自治体では1台の受信機で対応している。なぜ、本町は2台必要なのか。

○公民会放送施設の補助金の額は、現段階でどうなっているのか。

◆その他の事項◆

○紫尾山の風力発電はきれいな山並みの景観を阻害しないか。

○政策として定住対策が進められているが、平成29年度の子育て世代の実績はどうであったか。体験住宅、空き家情報バンクの実績はどうであったか。

○現在の3区体制の地域づくり支援員のあり方では公民館運営は機能しない。各区に支援員の配置を要望する。

○区公民館長にも、少しは公費を使える権限を与えてはどうか。

○虎居地区では生ごみの分別収集が行われているが、虎居地区の意見を聞いて平成31年度に活かしてほしい。

○インターネット整備とは、どの程度のことを言っているのか。

○現在インターネット回線をADSLで利用しているが、将来廃止

されて使えなくなるのではないか。

○町営住宅の家賃等が高い。家賃を下げて子育て世帯の定住を図るべきではないか。

○国と県の施設や企業の誘致をもっと行うべきではないか。

○免許証を返納したいが買物にも行けないので、公共交通網の整備を進めてほしい。

○高齢化が進む地域の実情に対応した政策を要望する。



【永野区】

※町に対する意見・要望事項等については、取りまとめ町長に提出いたしました。

◇議会傍聴へどうぞ◇

○日程等は事前にお知らせしますので、傍聴にお越しください。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビまたはご自宅のパソコンをインターネットに接続されている方は、インターネット中継で本会議の状況を見ることができます。

○次回（第3回定例会）は、9月6日（木）開会予定です。

町議会

- ・ さつま町議会
- ・ 議会の概要
- ・ 議員名簿
- ・ 会議録
- ・ 会議の傍聴
- ・ 請願・陳情
- ・ 町議会ライブ中継
- ・ 議会だより

さつま町議会

ここでは、『議会情報』がご覧になれます



議会情報を満載

《さつま町ホームページ》

◎インターネットアドレス
http://www.satsuma-net.jp

初期画面の左にある下の表示をクリックすると、左の画面が表示され、議会情報をご覧になれます。

さつま町議会



議長の動静

※主な会議及び行事

平成30年4月

- 2日(月) 職員辞令交付式
- 6日(金) 盈進小学校入学式
- 9日(月) 薩摩中央高等学校入学式
- 19日(木) 町認定農業者会総会
- 20日(金) 議会運営委員会 全員協議会
- 23日(月) さつま地域農業管理センター運営協議会総会
- 25日(水) 県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査【鹿児島市】
- 26日(木) 県政説明会【鹿児島市】
- 2日(水) 第75回国民体育大会町準備委員会第3回総会
- 7日(月) 議会全員協議会
- 8日(火) 川内川下流改修促進期成会会計監査
- 9日(水) 県町村議会議長会臨時総会
- 10日(木) 軸屋酒造新商品梅酒完成試飲会

- 12日(土) 二渡ホタル舟運航開始日乗船
- 14日(月) 議会との意見交換会
- 15日(火) 議会との意見交換会
- 16日(水) 県下一周・地区対抗女子駅伝競走大会川薩地区運営委員会【薩摩川内市】
- 17日(木) 議会との意見交換会
- 18日(金) 北薩空港幹線道路整備促進期成会総会
- 19日(土) 二渡区ホタルを観る夕べ
- 20日(日) 川内川総合水防演習【薩摩川内市】
- 21日(月) 川内川改修促進期成会理事会
- 22日(火) 議会全員協議会
- 23日(水) つるだ特産品出荷協議会定期総会
- 25日(金) 明治150年記念式典【鹿児島市】
- 26日(土) 町シルバー人材センター定時総会
- 28日(月) 全国町村議会議長・副議長研修会【東京都】
- 29日(火) 町青少年育成町民会議総会
- 31日(木) 議会運営委員会

6月

- 1日(金) 全員協議会
- 2日(土) 町夏まつり第1回実行委員会
- 3日(日) 第12回川内川鮎まつり
- 4日(月) 町畜産振興会総会
- 5日(火) 第2回議会定例会(開会日)
- 7日(木) 町農林技術協会総会
- 8日(金) 第2回議会定例会(一般質問)
- 9日(土) 町手をつなぐ育成会総会
- 15日(金) 町ものづくり企業振興会総会
- 25日(月) 議会運営委員会 全員協議会
- 26日(火) 県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査【鹿児島市】
- 27日(水) 第2回議会定例会(閉会日)
- 28日(木) 町夏まつり第2回実行委員会
- 2日(月) 川内川改修促進期成会要望会
- 5日(木) 奥薩摩・水と緑の郷づくり推進協議会総会
- 6日(金) 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会【出水市】
- 9日(月) 国道267号改良促進期成会総会
- 11日(水) 川内川改修促進期成会等合同要望会【九州地方整備局】
- 13日(金) 薩摩中央高校振興対策協議会総会
- 20日(金) 全員協議会・町自衛隊家族会総会

7月

- 2日(月) 川内川改修促進期成会要望会
- 5日(木) 奥薩摩・水と緑の郷づくり推進協議会総会
- 6日(金) 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会【出水市】
- 9日(月) 国道267号改良促進期成会総会
- 11日(水) 川内川改修促進期成会等合同要望会【九州地方整備局】
- 13日(金) 薩摩中央高校振興対策協議会総会
- 20日(金) 全員協議会・町自衛隊家族会総会

議会活動



市町村議会議員研修会において「想定を超える災害にどう向き合えばいいのか」「女性活躍の成否のカギ」と題して講演を受けました。(H30.5.9)



「議会との意見交換会」において、活発な意見交換が行われました。【紫尾区】(H30.5.14)



「議会との意見交換会」において、活発な意見交換が行われました。【佐志区】(H30.5.16)



県議会文教警察委員会による行政視察が行われました。視察対象課：社会教育課・こども支援課(H30.5.17)



「議会との意見交換会」において、活発な意見交換が行われました。【久富木区】(H30.5.18)



宮崎県川南町議会運営委員会による「議会報告会について」「議会のライブ中継について」行政視察を受け入れました。(H30.5.22)

編集後記

今回の議会だより発行にあたり、5月に実施いたしました議会との意見交換会では、議会活動や議員活動・議会広報・町行政に対する貴重な意見や要望を頂きました。

各担当課で確認する事項等については、各公民館長宛てに回答をお送りいたしました。議会に対するご意見は全議員で協議しながら議会活性化に繋げて参ります。

議会広報については、今回から文字を大きくしてより見やすい紙面づくりに取組みましたが、一般質問等のスペースについては次号から改める予定です。

(米丸)

議会広報特別委員会

委員長 米丸文彦
副委員長 田光彦
委員 上野一彦
委員 三浦幸